

社長の少子い

任事としていふ時は 失敗が少つた

羽田に ついた時 印符が 飛たい

ついに 次の便に 乗り着いたのが 夕暮に

かつてしるつた

大きな失敗だつた

介懐のせりに なるて からも 失敗は 有る

午後の へルム 1 時 午前十時に来る

バツと 自分が ころえら 九時五分前

あゝ 命は 新だつた

おん どの 女中 さん さん さん さん さん さん

身 づくと うい えて 時中を 見つ 五分前だ

よかつた ほかつた

とへルム 1 の 乗る やを する

十分すぎ 二十分すぎ

道路が こん びい くの だ

近くの 駅 ほど 通 郎の 人で 不み ぎりが 多

すな ぐ あり ない

時計を 欠ると 九時三十分を すぎた

事故 かも しれない

とにかく彼女の会社はデシクをしかた  
るが愛だつた

急球軍が走つていゝ  
く配に取ら

玄奥をアケる身よ

くらひ

これ朝レヤるの 夜の九時半に

まぢがえん ありて電流

有りゆきの 深明がび  
社長の少ういふが

ハの予でもいひてりた

我が家の帰れは 夜中も  
ひの甲も有ら

ニッの輝きは九時半に

その社長に不右にデニリ

丁けがテンメウをフがママ

結果は<sup>ア</sup>はうくあつていすよ  
サイニだつた

物じとを知らぬいと 阿比麻屋長を

あす少せてりよかもしぬる

2021  
10/13